

令和4年度 経営発達支援事業 評価シート

評価基準

A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%) D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) E: 未実施

I 経営発達支援事業の内容

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和4年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること【P7】	①中小企業景気動向調査	回	4	4	岩手県商工会連合会より提供される「中小企業景況調査報告書」にて県内の景況を把握。事業計画策定支援時に活用した。	A
	②住田町景気動向調査(20社)	回	2	7	4社への隔月の新型コロナウイルス感染症影響調査と、4月に町と共同で実施した同感染症による影響調査を実施し、有効なデータを事業計画策定時に活用した。	A
	③岩手経済研究所による情報収集	回	12	12	岩手経済研究所の解散により月刊誌も廃刊⇒機能継承された「いわぎんりサーチ&コンサルティング(株)」による景況調査結果を支援業務に活用した。	A
	④ホームページによる情報発信	回	2	4	岩手県商工会連合会より提供される「中小企業景況調査報告書」をホームページへ掲載した。	A
2. 経営状況の分析に関すること【P8】	①巡回訪問件数 (支援対象掘り起しのための巡回数)	件	40	49	巡回訪問により現状や課題等を確認し、活用できそうな支援施策等の情報を提供。事業計画策定支援企業の掘り起こしにもつなげた。	A
	②商工会報による掘り起し (商工会報の発行数)	回	3	5	商工会報発行時に、事業計画策定の有効性を伝える為、小規模事業者持続化補助金等の各種支援施策も併せて周知。会報は6/15、12/12に発行。県施策2回、町施策1回の周知案内も行った。	A
	③経営分析件数	社	8	11	巡回訪問時に収集した情報をもとに、支援企業の経営分析(定量分析・定性分析)を行い、事業計画策定支援に活用した。	A
3. 事業計画策定支援に関すること【P9】	①事業計画策定件数	件	8	10	経営分析を踏まえ、持続的発展を図った事業計画を策定。活用できそうな各種支援施策等も提案し、小規模事業者持続化補助金等の取組実施支援を行った。	A
	②事業計画策定セミナー開催回数	回	1	2	8/8、9/2(11/28フォローアップ)にそれぞれ別の講師による事業計画策定個別相談会等を実施。計4事業所に対し、事業計画策定におけるポイントを絞った指導支援を行った。	A
	③創業・事業承継支援件数	件	2	11	町内での創業者1件について、地元金融機関と連携して創業支援を行った。また、10社に対し、事業承継計画の策定支援を行った。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【P10】	①計画実施のためのフォローアップ件数 (対象事業所数×4回)	回	40	58	小規模事業者持続化補助金採択済み7事業所、事業再構築補助金採択済み1事業所に対し、計58回巡回訪問等による計画実施のためのフォローアップを行った。	A
5. 需要動向調査に関すること【P10~12】	①消費者ヒアリング調査	回	1	0	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施見送り。	—
		社	3	0		—
	②首都圏における需要動向調査 (消費者ニーズ調査)	回	1	0	ECサイト「JAタウン」掲載事業所10社については継続して支援を行ったが、コロナ禍の影響により首都圏など県外での販促支援や消費者ニーズ調査の実施には至らなかった。	—
		社	3	10		—
	③首都圏における需要動向調査 (トレンド調査)	回	1	1	11/24に岩手県産物のバイヤーを招聘し、参加事業者に対して首都圏等のトレンドやコロナ禍におけるEC市場の動向について説明。また、各事業者毎への製品に対するアドバイスもいただいた。商品の改善点等の明確化やECサイトの活用ポイントを学び、販路開拓の実現性を高める機会となった。	A
		社	3	3		A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【P12~13】	①商談会・物産展支援者数	社	5	5	11/24の岩手県産物による「訪問型個別商談会」において4事業所が参加。円滑な商談となるよう事業の運営や、バイヤーからのアドバイス等を踏まえた個別支援により成果の向上を図った。2/7の「いわて食の商談会 in 仙台」には新型コロナウイルス感染症感染拡大以後初めて1事業所が出席。三陸けせん希望ストリート連絡協議会と住田町の支援もと、ECサイト「JAタウン」登録事業所10社に対して支援(2月送料無料キャンペーンなど)を行った。	A
	②ニッポンセレクト.com出展支援者数	社	3	10		A
	③SHIFT利用事業所総数	社	41	16	SHIFTから情報発信ツール「グーペ」への支援移行後は、具体的な支援取組に至らず。	C
	④フェイスブック活用講習会開催回数	社	1	0	事業者のIT支援ニーズと新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、集団講習会開催については慎重に吟味し、最終的に開催を見送った。	E
	⑤フェイスブック利用事業所数	社	40	22	SNSの多種多様化が劇的に変化しており、Facebook以外の利用状況を前年度以降把握し切れていない。	C

II 地域経済の活性化に資する取組み

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和3年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 地域経済活性化イベント事業【P13】	町内各種イベント	—	—	2	住田町夏まつり、すみだ産業まつりが、新型コロナウイルス感染症感染拡大後、本格再開協力した。	—
2. 町内各組織の連携強化と中心商店街の活性化【P13~14】	①特産品開発支援	社	3	5	地元材料を活用した新たな商品開発、専門家や岩手県産物などのバイヤーと情報交換や助言を得る機会を創出した。	A
	②地元木材を活用した商品開発支援	社	4	1	新商品開発、販路開拓等(事業化含む)の支援を1件行った。	C
	③森林林業日本一を目指す町PR支援	回	2	1	具体的なPR支援に至らず。	C

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和3年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること【P14~15】	①経営改善貸付連絡協議会参加	回	2	1	6/20オンライン開催でのマル経協議会出席。得られた情報については、小規模事業者の個別指導の際に活用。(夏季・年末公庫個別相談会2回実施)	C
	②保証協会主催の懇談会	回	1	2	保証協会も出席する岩手県商工会連合会主催の「ブロック別金融会議」(2回開催)に出席し、情報共有を図ることができた。	A
	③住田町地域経済活性化推進協議会	回	1	0	開催に至らなかったが、前述町内イベントの事務局会議などの中でも情報交換を行った。	E
	④行政との情報交換	回	1	2	8/17農政課へ主に次期経営発達支援計画等説明と情報交換、11/9町長要望等が行われ、町内小規模事業者の現状や課題を共有し、小規模事業者支援に対する情報交換を行った。	A
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること【P15~16】	①岩手県商工会連合会の研修	回	16	24	職員向けの各種研修会への参加等により、最新情報や景況の把握、支援ノウハウの取得等、資質向上を図った。	A
	②全国商工会連合会の研修	回	1	2		A
	③中小企業基盤整備機構の研修	回	1	1	2/2「IT支援力強化研修会」(県連と中小機構仙台校の協力開催)をオンライン受講。	A
	④商工会内研修	回	12	12	毎朝職員間でミーティング実施、当日業務内容や情報共有により、会員支援に役立てた。	A
3. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること【P16】	①企画委員会の設置による事業の評価・検証	—	—	2	12/21第1回企画委員会、3/23第2回企画委員会を開催。	—